

令和7年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書

小千谷市教育委員会

【目 次】

I 教育委員会の会議の開催及び審議状況

1	教育委員会 第4回定例会	(令和7年 4月15日開催)		1
2	教育委員会 第5回定例会	(令和7年 5月21日開催)		1
3	教育委員会 第6回定例会	(令和7年 6月25日開催)		2
4	教育委員会 第7回定例会	(令和7年 7月23日開催)		3
5	教育委員会 第8回定例会	(令和7年 8月18日開催)		3
6	教育委員会 第9回定例会	(令和7年 9月22日開催)		3
7	教育委員会 第10回定例会	(令和7年10月30日開催)		4
8	教育委員会 第11回定例会	(令和7年11月21日開催)		4
9	教育委員会 第12回定例会	(令和7年12月23日開催)		5
10	教育委員会 第1回定例会	(令和8年 1月19日開催)		5
11	教育委員会 第2回定例会	(令和8年 2月20日開催)		6
12	教育委員会 第3回定例会	(令和8年 3月17日開催)		7

II 教育委員会における事務の点検及び評価

1 学校教育の充実

(1) 幼児教育の充実

ア	認定こども園への支援		8
イ	相談体制の充実		8

(2) 小・中学校教育の充実

ア	学校の創意を活かす教育の推進		9
イ	情報活用能力の育成		10
ウ	教職員の指導力向上		10
エ	ふるさと教育・キャリア教育の推進		11
オ	震災体験を活かした防災教育の推進		11
カ	いじめ・不登校対策と人権感覚を育む教育の推進		11
キ	英語教育・国際理解教育の充実		12
ク	非核平和教育の推進		13
ケ	食育の推進		14
コ	学校給食の運営		15

(3)	特別支援教育の充実	
ア	就学相談体制の充実	15
イ	特別支援教育の充実	16
ウ	総合支援学校の運営	16
エ	生徒への就労支援	17

(4)	教育環境の整備	
ア	学校施設の整備	17
イ	学校給食施設の整備	18
ウ	I C T環境の整備	18
エ	市立小中学校の在り方検討	19
オ	学びの多様化学校整備	19

(5)	育英事業の推進	
ア	育英事業に対する支援	19

2 子育て環境の充実

(1)	子育て支援の充実	
ア	子育てを支援する地域社会づくりの推進	20
イ	保育サービスの充実	21
ウ	保育施設の適正配置の推進	21
エ	放課後児童クラブ（学童保育）への支援	22

Ⅲ 点検及び評価に対する意見等 22

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、小千谷市教育委員会の令和7年度における事務の管理及び執行の状況について、教育施策が着実に執行されているかなど、学識経験者からご意見をいただきながら、点検及び評価を行い、その結果を報告するものです。

教育を取り巻く環境は年々厳しさを増していますが、市教育委員会の事務・事業につきまして一層のご理解を深めていただくとともに、「人を育み文化の香るまちづくり」のために、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

小千谷市教育委員会

【学識経験者】

- ・ 井 上 幸一郎（新潟県立小千谷高等学校校長）
- ・ 菅 原 誠 廣（前教育センター所長）
- ・ 大 瀧 良 子（認定こども園つくし幼稚園園長）

I 教育委員会の会議の開催及び審議状況

令和7年度に教育委員会定例会を12回開催し、33件の議案を審議しました。また、議事録承認12件、陳情1件、協議報告事項は81件でした。審議の結果は、以下のとおりです。

1 教育委員会第4回定例会

- ・ 日 時 令和7年4月15日（火） 午後3時00分～午後3時19分
- ・ 場 所 市役所402会議室
- ・ 議事録承認 令和7年第3回定例会
- ・ 議 事 （2件）

議案第16号	小千谷市学校運営協議会の設置等に関する規則の制定について	原案承認
議案第17号 （非公開）	臨時代理について（附属機関の委員の人事について）	原案承認

- ・ 協議報告事項（4件 非公開）
 - ・ 全県教育長会議の報告について
 - ・ 小千谷学生寮歓迎会の状況について
 - ・ 始業式当日の児童生徒の欠席状況について
 - ・ 令和7年度教育委員・管理指導主事学校訪問日程調整について

2 教育委員会第5回定例会

- ・ 日 時 令和7年5月21日（水） 午後4時00分～午後4時15分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室

- ・ 議事録承認 令和7年第4回定例会
- ・ 議 事 (4件)

議案第18号	小千谷市学校給食センター調理・運搬等業務委託業者選定委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について	原案承認
議案第19号	小千谷市立学校給食調理業務委託業者選定委員会設置要綱の制定について	原案承認
議案第20号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認
議案第21号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認

- ・ 協議報告事項(6件 非公開)
 - ・ 学校の在り方検討委員会について
 - ・ 中学校リーダー研修会について
 - ・ 市議会第1回臨時会について
 - ・ 関東地区都市教育長協議会総会について
 - ・ 「わたしの主張」審査委員について
 - ・ 学校訪問における懇談会の進め方について

3 教育委員会第6回定例会

- ・ 日 時 令和7年6月25日(水) 午後4時00分～午後4時15分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和7年第5回定例会
- ・ 議 事 (3件)

議案第22号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和7年度一般会計(教育委員会所管)補正予算(第3号)について))	原案承認
議案第23号	小千谷市乳児等通園支援事業実施要綱の制定について	原案承認
議案第24号	小千谷市乳児等通園支援事業認可要綱の制定について	原案承認

- ・ 協議報告事項(7件 非公開)
 - ・ 学校の在り方検討委員会について
 - ・ 部活動の地域展開について
 - ・ こども誰でも通園制度の事業開始について
 - ・ 市議会第2回定例会一般質問について
 - ・ 新潟県少年の主張－わたしの主張－小千谷市内選考会について
 - ・ 不登校児童・生徒親の会開催について
 - ・ 学校訪問の様子について

4 教育委員会第7回定例会

- ・ 日 時 令和7年7月23日（水） 午前9時26分～午前9時33分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和7年第6回定例会
- ・ 議 事 （1件）

議案第25号	特別支援学校及び特別支援学級用の教科用図書の採択について	原案承認
--------	------------------------------	------

- ・ 協議報告事項（3件 非公開）
 - ・ 令和7年度中学校中越地区大会・県大会の結果について
 - ・ 令和7年度新潟県市町村教育委員会連合会について
 - ・ 学校訪問の様子について

5 教育委員会第8回定例会

- ・ 日 時 令和7年8月18日（月） 午後4時09分～午後4時15分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和7年第7回定例会
- ・ 議 事 （0件）
- ・ 協議報告事項（9件 非公開）

- ・ 令和7年度1学期いじめ認知報告及び不登校児童生徒の状況について
- ・ 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について
- ・ 部活動の地域展開の経過と課題について
- ・ 学びの多様化学校の設置に向けた準備状況について
- ・ 学校の在り方検討委員会の進捗状況について
- ・ 令和7年度北信越中学校総合競技大会の結果について
- ・ わたしの主張長岡地区大会の結果について
- ・ 広島平和式典記念式典への参加の様子について
- ・ 教育委員会行政視察研修について（協議）

6 教育委員会第9回定例会

- ・ 日 時 令和7年9月22日（月） 午後3時58分～午後4時09分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 承議事録認 令和7年第8回定例会
- ・ 議 事 （1件）

議案第26号	臨時代理について（議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について（令和7年度小千谷市一般会計（教育委員会所管）補正予算（第5号）について）	原案承認
--------	--	------

- ・ 陳 情 （1件）

陳情第1号	小千谷市教育の振興に関する要望書について	原案可決
-------	----------------------	------

- ・ 協議報告事項（９件 非公開）
 - ・ 市議会第３回定例会一般質問について
 - ・ ２学期始業式における児童生徒の出欠状況について
 - ・ 「中越大震災の日」に係る取組について
 - ・ 科学作品展覧会について
 - ・ 学びの多様化学校説明会について
 - ・ 東小千谷小学校統合１００周年記念式典について
 - ・ 青少年育成センターについて
 - ・ 「子どもの生活リズム向上強調週間」について
 - ・ 学校整備委員会・総合教育会議について（協議）

７ 教育委員会第１０回定例会

- ・ 日 時 令和７年１０月３０日（木） 午後２時００分～午後２時１２分
- ・ 場 所 市役所４０３会議室
- ・ 議事録承認 令和７年第９回定例会
- ・ 議 事 （２件）

議案第２７号	教育委員会委員の議席の決定について	原案承認
議案第２８号	小千谷市特定教育・保育等に要する費用の額の算定に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について	原案承認

- ・ 協議報告事項（９件 非公開）
 - ・ 学習用端末の更新と機種を選定理由について
 - ・ 学校給食調理業務の民間委託について
 - ・ 学びの多様化学校説明会の参加状況について
 - ・ 中越地区中学校駅伝競走大会の結果について
 - ・ 東小千谷小学校統合１００周年記念式典について
 - ・ 全国へき地教育研究大会新潟大会について
 - ・ 新潟県都市教育長協議会秋季定期総会について
 - ・ 教育委員会行政視察について
 - ・ 「子どもの生活リズム向上強調週間」について

８ 教育委員会第１１回定例会

- ・ 日 時 令和７年１１月２１日（金） 午後３時５７分～午後４時００分
- ・ 場 所 市役所４０３議室
- ・ 議事録承認 令和７年第１０回定例会
- ・ 議 事 （０件）
- ・ 協議報告事項（７件 非公開）
 - ・ おぢやしごと未来塾について
 - ・ 市立学校再編事業の進捗状況について

- ・ 学びの多様化学校開校に向けた準備状況について
- ・ 新潟県教職員組合の要望と回答について
- ・ いじめ対策専門委員会について
- ・ イングリッシュセミナーについて
- ・ 県中学校駅伝大会の結果と全国駅伝大会について

9 教育委員会第12回定例会

- ・ 日 時 令和7年12月23日（火） 午後4時00分～午後4時12分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和7年第11回定例会
- ・ 議 事 （2件）

議案第29号	臨時代理について（議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について（令和7年度小千谷市一般会計（教育委員会所管）補正予算（第7号）について）	原案承認
議案第30号	臨時代理について（議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について（小千谷市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について）	原案承認

- ・ 協議報告事項（9件 非公開）
 - ・ 令和8年度入園申込状況について
 - ・ 小千谷市幼保小連携推進事業について
 - ・ 市立学校再編事業の進捗状況について
 - ・ 学びの多様化学校開校に向けた準備状況について
 - ・ 全国中学校駅伝大会について
 - ・ 第4回市議会定例会における一般質問について
 - ・ おぢやしごと未来塾の報告について
 - ・ 教育委員会行政視察研修について
 - ・ こども若者家庭センターの設置について

10 教育委員会第1回定例会

- ・ 日 時 令和8年1月19日（月） 午後4時01分～午後4時06分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和7年第12回定例会
- ・ 議 事 （1件）

議案第1号	特別支援学校及び特別支援学級用の教科用図書の追加採択について	原案承認
-------	--------------------------------	------

- ・ 協議報告事項（4件 非公開）
 - ・ 3学期始業式の出席状況について

- ・ 2 学期のいじめ不登校等の状況報告
- ・ 令和 7 年度 全国体力・運動能力、運動週間等調査結果（速報）
- ・ 卒業式の日程と出席について（協議）

1.1 教育委員会第 2 回定例会

- ・ 日 時 令和 8 年 2 月 2 0 日(金) 午後 3 時 5 7 分～午後 4 時 3 2 分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和 8 年第 1 回定例会
- ・ 議 事 (12 件)

議案第 2 号	臨時代理について（議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について（小千谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について））	原案承認
議案第 3 号	臨時代理について（議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について（小千谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について））	原案承認
議案第 4 号	臨時代理について（議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について（小千谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について））	原案承認
議案第 5 号	臨時代理について（議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について（小千谷市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について））	原案承認
議案第 6 号	臨時代理について（議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について（小千谷市特定乳児等通園事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について））	原案承認
議案第 7 号	臨時代理について（議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について（令和 7 年度小千谷市一般会計（教育委員会所管）補正予算（第 12 号）について）	原案承認
議案第 8 号	臨時代理について（議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について（令和 8 年度小千谷市一般会計（教育委員会所管）当初予算について））	原案承認

議案第 9 号	小千谷市教育委員会組織規則の一部を改正する規則の制定について	原案承認
議案第 10 号	小千谷市教育センター運営規則の一部を改正する規則の制定について	原案承認
議案第 11 号	小千谷市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について	原案承認
議案第 12 号	小千谷市が設置する特定教育・保育施設に係る費用の額を定める要綱の一部を改正する要綱の制定について	原案承認
議案第 13 号 (非公開)	令和 8 年度管理職教職員人事異動の内申について	原案承認

- ・ 協議報告事項（6 件 非公開）
 - ・ 教育行政大綱の改訂について
 - ・ 全国中学校スキー大会の結果について
 - ・ エデュケーショントークについて
 - ・ 西脇順三郎賞ふるさと賞について
 - ・ 文部科学大臣優秀教員表彰について
 - ・ 市立学校卒業式対応について

1 2 教育委員会第 3 回定例会

- ・ 日 時 令和 8 年 3 月 17 日(火) 午後 4 時 12 分～午後 4 時 33 分
- ・ 場 所 小千谷市民学習センター
- ・ 議事録承認 令和 8 年第 2 回定例会
- ・ 議 事 (5 件)

議案第 14 号	小千谷市放課後児童健全育成事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱について	原案承認
議案第 15 号	小千谷市乳児等通園支援事業の認可及び特定乳児等通園支援事業の確認に関する要綱の制定について	原案承認
議案第 16 号	小千谷市立学校使用条例施行規則の一部を改正する規則について	原案承認
議案第 17 号	小千谷市立保育園条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	原案承認
議案第 18 号 (非公開)	臨時代理について（教育委員会事務局、教育委員会の所属に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事を行うことについて）	原案承認

- ・ 協議報告事項（8 件 非公開）
 - ・ 令和 8 年度小千谷市教職員の人事異動について
 - ・ 教育委員会関連の小千谷市褒賞者について

- ・市議会第1回定例会一般質問について
- ・小千谷学生寮等の状況について
- ・学校給食センター給食費の不足について
- ・中学校卒業式の感想について
- ・令和7年度教育委員会総括
- ・異動者挨拶

Ⅱ 教育委員会における事務の点検及び評価

第五次小千谷市総合計画に定める施策のうち、教育委員会が所管する施策について点検・評価を行いました。

具体的には、後期基本計画に分野別に体系づけられた「施策の基本方針」について、令和7年度の実施状況を点検・評価したものであり、その結果は以下のとおりです。

なお、実施状況を補足するうえで、小千谷市が調製した「令和7年度 主要な施策の成果説明資料（兼事務報告）」（以下「資料」という。）を参照することが適切なものは、資料の該当ページを表示しました。

1 学校教育の充実

(1) 幼児教育の充実

ア 認定こども園への支援

【令和7年度の実施】

- 教育・保育を一体的に行う幼保連携型認定こども園（私立3園）に対し、特色ある教育の推進と充実を図るため、運営費補助及び助言による運営支援を行った。

※資料P86～87 「○子ども・子育て支援事業」参照

【成果及び今後の実施等】

- 国、県及び市による認定こども園に対する支援を継続した。待機児童が発生しないよう、官民一体による保育ニーズへの対応と質の高い保育の提供に努める。

イ 相談体制の充実

【令和7年度の実施】

- 特別支援教育指導主事がより専門的な指導助言を行うことで、各園との連携が強化された。各園の育児講座などで、保護者に就学相談の進め方を周知する機会が増えた。
- 教育支援委員会、保育園等関係機関と連携し、就学に関する情報交換及び

就学相談に対応した。

- 就学相談をより円滑に推進するため、各園における特別支援教育の相談窓口となる発達支援コーディネーターを各園に配置し、研修会の実施や小学校との情報交換を行った。
- 各園を対象とした巡回訪問を行い、就学相談等への助言や就学前から園児についての情報収集を行った。

※資料 P154～157 「○教育指導経費」 参照

【成果及び今後の取組等】

- より専門的な指導助言を行うことができたため、各園と学校との連携及び調整を円滑に図ることができた。
- 巡回訪問や各園への発達支援コーディネーターの配置により、早期からの就学相談が定着してきている。
- 幼保小の就学相談に関わる連携体制のより一層の充実を図る。
- 特別支援教育に係る研修の充実を図る。

(2) 小・中学校教育の充実

ア 学校の創意を活かす教育の推進

【令和 7 年度の取組】

- 改訂「おちやっ子教育プラン」（令和 7～9 年度版）の内容を学校訪問の際に各学校に周知、また、学校を通じて保護者や地域等に周知し、教育プランの理解を図った。
- 「おちやっ子教育プラン」に基づき、校長のリーダーシップのもと、各校が「おりなす教育推進事業実施計画」を作成し、家庭・地域と共に学校・地域の特色を生かした実践を行った。
- 各校の「おりなす教育推進事業 実践編」を冊子にまとめ配付している。各校は他校の取組を参考にすることができている。

※資料 P154～157 「○教育指導経費」 参照

【成果及び今後の取組等】

- 学校訪問を通じて教職員に、また、学校を通じて保護者や地域等に、改訂「おちやっ子教育プラン」を周知し、理解が広がった。
- 各校は「おちやっ子教育プラン」をグランドデザインや教育計画に反映させ、その具現化に取り組んでいる。各校の特色生かした取組を進めるとともに、よこ糸である家庭や地域の役割を生かし、学校と保護者が連携しながらメディアコントロールや家庭学習の取組を進めている。
- 小・中特別支援学校新学習指導要領、及び新潟県の学校教育の重点を受け、

「生きる力」を育む「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、「単元構想の工夫」「対話のある学び」「ICT活用」を重点的に取り組んでいく。

イ 情報活用能力の育成

【令和7年度の取組】

- 一人一台端末をi P a dに更新し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践がいっそう進められた。個別最適な学び、協働的な学びの様々な場面で活用が進められている。

【成果及び今後の取組等】

- G I G Aパソコンの利用促進と共に、取り扱うデータ量が増加するため、学校の通信環境の改善を図る。
- デジタル教科書の使用とともに、教員の情報活用能力、授業づくりに関する創造力等を高めていく。
- 改訂「おちやっ子教育プラン」（令和7～9年度）で具体的に定めたメディア接触に関する小千谷市統一ルールに各校、各家庭で実践されるよう働きかける。

ウ 教職員の指導力向上

【令和7年度の取組】

- 教育委員会や教育センター主催の研修会を実施した。
- 市教育研究会と連携した指導力向上研修と若手教員対象の小千谷塾及び全小・中学校、総合支援学校への市教委訪問における指導助言で、教職員の指導力向上を図った。
- 全国学力・学習状況調査や児童生徒質問紙の実施結果を各校で分析し、学力向上や生活習慣等の向上に取り組むように指導した。

【成果及び今後の取組等】

- 各校は全国学力・学習状況調査や児童生徒質問紙の結果を分析し、自校の課題の改善を目指して、授業改善や教育活動の見直しに取り組んだ。学ぶ楽しさや分かる喜びを実感できる授業づくりを推進していく。
- 新採用教員が増えている。小千谷塾での個別指導等において課題への指導やよさを認める助言を通して、教員としての基本的な資質・能力の向上を図る。
- 全国学力・学習状況調査の結果、小学校は国語・算数が全国平均より高く、中学校は国語・数学が全国平均と同程度、理科はともに全国平均より低いという結果となった。令和8年度は、中越教育事務所に要請して数学の重点指導を受け、授業力向上に向けて取り組む。

エ ふるさと教育・キャリア教育の推進

【令和7年度の取組】

- 「おりなす教育推進事業」を実施し、子どもたちが、小千谷の自然・歴史・人と繰り返ししかかわる（おりなす）教育を推進し、ふるさとに誇りをもち、夢に向かって進む礎づくりを行った。
- 市内の企業及び事業所からの協力を得て、中学校1・2年生対象の「おちやしごと未来塾」を実施することができた。「職場体験活動」についても、2年生を対象に3日間実施した。

※資料P154～157 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組等】

- 各校が地域の特色を捉えた特色ある、ふるさと教育・キャリア教育を推進できた。
- キャリアパスポートの活用を進める。校種が変わっても継続して利用し、個々の将来への夢や希望の実現につながる資質・能力を育んでいく。

オ 震災体験を活かした防災教育の推進

【令和7年度の取組】

- 「防災教育の推進」を「おちやっ子教育プラン」に位置付け、年間を通して計画的に防災教育を推進した。
- 中越大震災を風化させない取組を各校で推進した。
- 中学校3年生対象の「おちや防災塾」を実施し、災害時に命を守る行動を学んだ。

※資料P154～157 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組等】

- 「おちや震災ミュージアム そなえ館」の活用が進み、震災への心構えが定着してきている。スポーツコミュニティプレイス「ソコラテ」への移転、リニューアルを機会に学びの一層の推進を図る。
- 地域を巻き込んだ防災訓練や体制整備を進める。
- 洪水や土砂災害など自然災害が頻繁に起こる状況になっている。災害時における学校の対応マニュアルの不断の見直しを図るとともに、地域の安全を守る子どもたちを育んでいく。

カ いじめ・不登校対策と人権感覚を育む教育の推進

【令和7年度の取組】

- 学校に登校できなかつたり、教室に入ることが難しい生徒の学びの場づく

りを目的として「学びの多様化学校」小千谷中学校上ノ山分校の開校準備を進めた。

- 毎月、児童生徒のいじめ報告や出欠状況報告を学校に求めている。学校からの報告を基に、青少年育成センター所長、教育センター「マイルーム」指導員、市教育相談員、教育・保育課管理指導主事で情報交換会を行い、実態把握や対応の検討を行っている。
- 不登校児童生徒の保護者に寄り添うため、不登校児童生徒の親の会（スマイルの会）を3回開催し、保護者同士の情報共有の場を提供した。
- 「いじめ・不登校等対策協議会」を開催し、管理指導主事が講師となり、いじめの事例や対応に関する講話を行った。協議会を含め、学校が適切に対応を進めることの重要性について理解と認識を深める機会となった。
- 「いじめ対策専門委員会」を開催し、様々な立場から、いじめ対応についての専門的なご意見をいただき理解を深める機会となった。
- 生徒指導主事・生活主任対象のいじめ・不登校対応研修を年2回実施し、対応力の向上を図った。
- 新潟県同和教育研究集会、人権・同和教育啓発推進講座「越佐にんげん学校」の開催を各校に周知し、積極的な参加を促した。教職員の学びを深め、人権意識の向上を図っている。
- 「いのち・愛・人権」加茂展において、市内中学校区における人権教育、同和教育にかかる取組をパネル展示し、差別解消に向けた学びの場を提供した。

※資料 P 40 「■人権擁護関係事務」参照

※資料 P 154～157 「○教育指導経費」参照

※資料 P 158 「○適応指導教室経費」参照

【成果及び今後の取組等】

- 市民学習センター1階スペースを改修し、「学びの多様化学校」小千谷中学校上ノ山分校を開校することができた。また、校外教育支援センターとして、同センター3階の部屋を借用して Iwill（あいる 中学生対象、上ノ山分校との連携）、小千谷小学校教育支援センター S S R（スペシャルサポートルーム 小学生対象、市内全小学校の児童が利用可能、マイルームとの連携）を開設した。全ての中学校に S S R を設置している。
- 不登校については、学級担任が抱えることなく、校内での協力体制や外部の専門機関との連携を図っていく必要がある。教育委員会は、「学びの多様化学校」小千谷中学校上ノ山分校及び教育支援センター等とのハブの役割を果たしていく。
- 学校の早期発見・早期対応により、いじめの重大事態はなかった。
- 生徒指導担当者研修を受講し、各校でいじめに関する教職員研修が行われ、

教職員のいじめに対する知識や対応能力の育成が図られた。

- 小・中学校とも不登校児童生徒が増加している。一人一人の子どもの状況に応じた対応が重要であり、これまで以上に組織的な対応を行っていく。
- 児童生徒、保護者の不安や悩みに寄り添った支援の充実が大切である。引き続き、「不登校児童生徒の親の会（スマイルの会）」を開催し、保護者支援を通じて連携の輪を広げていく。
- 同和教育にかかわる教職員の研修支援を継続していく。

キ 英語教育・国際理解教育の充実

【令和7年度の取組】

- ALT 4名、外国語指導助手（臨時）1名、英語教育推進員（臨時）1名を配置し、外国語教育、国際理解教育を推進した。
- 小千谷・海外留学生支援協議会の協力を得て、各校に留学生を派遣して、国際交流、異文化体験授業を実施した。
- ウィンターイングリッシュキャンプは、小学生、中学生が一緒に参加し、半日で実施した。

※資料P154～157 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組等】

- ALT 4名体制、小学校5・6年外国語は英語専科教員とALTとのTT授業（ティームティーチング授業）、3・4年生は外国語指導助手、英語教育推進員、学級担任とのTT授業体制を今後も維持していく。
- ウィンターイングリッシュキャンプの実施により、児童生徒の国際理解の推進、英語力向上を図ることができた。引き続き推進していく。
- 小千谷・海外留学生支援協議会と連携して、児童生徒の国際交流、異文化体験の学びをさらに推進する。

ク 非核平和教育の推進

【令和7年度の取組】

- 被爆体験伝承講話会において、市内中学生が被爆体験者から直接講話を聞く機会を持てた。
- 非核平和ポスター展に市内中学生等が「世界が平和であることの大切さ」や「核兵器の恐ろしさや核兵器を無くすこと」を題材にしたポスターを作成し展示した。

【成果及び今後の取組等】

- 被爆体験伝承講話会や広島平和記念式典への生徒の派遣事業などを通して、核のない平和な社会を築くことの大切さについて、実感をもって学ぶこと

ができた。

- 社会科や国際理解教育、道德教育等、様々な学習場面で、児童生徒に生命や平和の大切さを伝えていく。

ケ 食育の推進

【令和7年度の取組】

- 給食週間の実施や給食だよりの発行など、学校給食を通して、児童生徒及び保護者に対し、食に関する正しい知識と望ましい食習慣について周知を図った。
- 6月19日（食育の日）の前後に市内統一の「おぢやっ子わくわくメニュー」を提供することで食育の推進を図った。
- 市内全校での小千谷産コシヒカリを使用した米飯給食の実施や、地元農家等と協働して地場産野菜を使用することで、地産地消の観点から食育についての啓発を図るとともに、食を通じて地域の理解を深めた。
- 地元生産者による授業での講話と給食交流などの活動を通して、児童生徒へ食育の推進を図った。
- 良質な小千谷産コシヒカリによる学校給食を継続するため、魚沼農業協同組合（旧越後おぢや農業協同組合）と覚書を締結し安定的な米飯給食の推進を図った。
- 「10.23中越大震災の日給食」として、震災時を想定し、備蓄できる食品を活用しながら、簡単な調理作業により提供できる献立による給食を市内統一で実施した。

※資料P179～180 「○学校給食経費 ○学校給食センター経費」参照

【成果及び今後の取組等】

- 給食週間のテーマを「We Love おぢや ～おぢやの魅力つめこんじゃいました～」とし、小千谷市が誇る文化に関連した給食メニューを提供した。子どもたちに給食週間の意義伝えとともに、泳ぐ宝石「錦鯉」、日本一美味しい「魚沼産コシヒカリ」、世界最大級の「四尺玉花火」、国指定重要無形民俗文化財である「牛の角突き」、市内の酒蔵や醸造会社の食品を使った「発酵」をテーマとし、おぢやの魅力を紹介しながら食育の啓発を図ることができた。
- 「おぢやっ子わくわくメニュー」では、減塩をテーマとした献立や噛むことを意識した献立などを実施した。
- 新潟県が11月を「米飯給食、地場産給食推進月間」と定めていることから、地元米や地場産物を使用した「キラッと新潟米☆地場もん献立」を提供した。
- 地場産物の活用により、食育の生きた教材となる学校給食としての役割を

- 果たしている。また、生産者や納入業者が減少している課題について、地元納入業者等と連携しながら、小千谷産の地場物の利用維持に努めていく。
- 学校給食を通した防災体験活動として「10.23中越大震災の日給食」を継続し、併せて児童生徒の防災意識の向上を図る。
 - 栄養教諭や学校栄養職員を中心に、児童生徒及び保護者に対して学校給食、授業、試食会等を通して食育を継続し、食育の啓発を図る。

コ 学校給食の運営

【令和7年度の取組】

- 調理員等の資質向上のため、研修会を実施した。
- 小千谷市食育推進計画の重点目標である望ましい食習慣を理解し、実践を促すため、食育月間である6月に保育園・学校共通メニューを提供した。
- 技能労務職の退職者不補充の方針により、調理員の安定的な確保が難しい状況において安全安心な学校給食を安定して提供していくこと及び職場環境を改善していくことを目的とし、令和8年度に小千谷小学校及び東小千谷小学校で実施する給食調理業務の民間委託事業者の選定を行った。

【成果及び今後の取組等】

- 安心・安全な給食を提供するため、調理員を対象とした研修会を継続して行う。
- 望ましい食習慣を理解し、実践を促すため、食育月間である6月に保育園・学校共通メニューの提供、おちや食育たよりの発行により子どもたちやその親世代に対し周知を図った。また、6月の広報おちやでも特集記事を掲載し、広く周知を図った。
- 現場で働く調理員や学校等に丁寧の説明を行い、給食調理業務をスムーズに民間委託することができた。
- 学校給食センターの調理・運搬業務の厳正かつ適正な指導・評価を行い、引き続き安全・安心な給食の提供に努める。

(3) 特別支援教育の充実

ア 就学相談体制の充実

【令和7年度の取組】

- 各園の発達支援コーディネーターを対象とした研修会を実施し、園での就学相談体制を整えるとともに、小学校への情報提供を行い、適正な就学に努めた。
- 特別支援教育指導主事を中心に各園への巡回訪問を行い、園児の様子について情報収集に努め、その後の就学相談につなげた。

【成果及び今後の取組等】

- 就学相談について、保護者と学校との調整を図ることで就学前児童の円滑な就学を進めることができた。
- 総合支援学校の地域連携担当と特別支援教育指導主事が役割分担を明確にしたことで、保育園・認定こども園と小学校との円滑な連携が進められた。
- 特別支援教育指導主事を中核として、各園職員の特別支援教育への理解、各小中学校の専門相談員の適切な就学の相談や判断のあり方等の研修を今後も進めていく。

イ 特別支援教育の充実

【令和7年度の取組】

- 小・中・総合支援学校に特別支援学級アシスタント35名、小学校に学校支援員16名を配置し、個のニーズに応じたよりきめ細やかな支援に取り組んだ。
- 地域における特別支援教育の充実を図るため、総合支援学校に設置された地域支援・特別支援教育推進部の活用を進めた。年間6回の教員向け研修会を実施した。
- 総合支援学校のセンター的機能を活かした相談支援ネットワークの構築を図った。

※資料P160～161 「○小学校教育振興経費」参照

※資料P163～164 「○中学校教育振興経費」参照

※資料P165 「○特別支援学校教育振興経費」参照

【成果及び今後の取組等】

- 総合支援学校の地域支援・特別支援教育推進部が各園や学校と積極的に連携し、児童生徒の個別の相談や支援を進めた。
- 特別支援教育指導主事を中心として、発達障がい疑われる児童生徒に対する適切な支援、通常学級に在籍する特別な配慮を要する児童に対する対応や支援等を学ぶ研修をさらに充実させていく。

ウ 総合支援学校の運営

【令和7年度の取組】

- 地域コーディネーターを配置し、各校と総合支援学校との連携を図った。
- 総合支援学校主催の研修講座を年4回実施し、市の特別支援教育の充実を図った。

【成果及び今後の取組等】

- 総合支援学校とその他の学校、保育園・認定こども園との連携が年々充実してきている。特に、保育園と総合支援学校のホットラインが有効に機能

しており、保育園の困り感に迅速に相談・対応できている。
○教員のニーズに応じた研修講座を実施し、市内教職員の積極的な参加を促していく。

エ 生徒への就労支援

【令和7年度の取組】

○ハローワーク主催の企業説明会への参加や市内企業、障がい者就労施設での現場実習に取り組んだ。

【成果及び今後の取組等】

○生徒の希望に沿った職場実習を継続的に行うことで、生徒の適性に応じた就労につなげることができた。令和7年度は14の事業所から職場実習を受け入れていただいた。今後も受入れについて周知していく。

○高等部の卒業生の増加に伴い、更に生徒の希望に沿った受け入れ先を開拓していく必要がある。

(4) 教育環境の整備

ア 学校施設の整備

【令和7年度の取組】

○小学校の校舎整備工事を実施した。

〈主な工事〉

- ・小千谷小学校特別教室棟屋根漏水対策工事
- ・和泉小学校屋内運動場落雪対策工事
- ・小千谷小学校校内教育支援センター設置工事

○中学校の校舎整備工事を実施した。

〈主な工事〉

- ・南中学校コンピュータ室エアコン設置工事
- ・学びの多様化学校設置（建築主体）工事
- ・学びの多様化学校設置（電気設備）工事

○総合支援学校の校舎整備工事を実施した。

〈主な工事〉

- ・総合支援学校屋外プール防水修繕工事

※資料P162 「○小学校施設整備事業」参照

※資料P164 「○中学校施設整備事業」参照

※資料P165 「○特別支援学校管理経費」参照

【成果及び今後の取組等】

○各種修繕、改修工事により校内環境の改善、向上が図られた。

○学校施設の老朽化や教育環境の変化に対応した施設整備を計画的に実施する。

〈今後の主な工事〉

- ・東小千谷小学校南校舎長寿命化工事
- ・小千谷小学校普通教室棟照明 LED 化工事
- ・片貝小学校北校舎他照明 LED 化工事
- ・小千谷中学校東校舎照明 LED 化工事

イ 学校給食施設の整備

【令和 7 年度の取組】

- 小千谷小学校給食室給湯ボイラー更新工事
- 給食センター給水ポンプユニット更新工事
- 給食センター高圧気中開閉器更新工事

【成果及び今後の取組等】

- 今後も計画的に老朽化した施設設備の改善を図り、安心・安全な学校給食を推進していく。

〈今後の主な工事〉

- ・小千谷中学校給食用エレベーター制御盤・ロープ改修工事
- ・給食センター検収室エアコン設置工事

ウ ICT環境の整備

【令和 7 年度の取組】

- 学習端末の活用を図るため、教職員対象の活用研修を継続して実施した。
- ICT教育を推進するため、情報通信技術支援員の配置及び情報教育業務委託を継続して行った。
- 学習端末を iPad に更新するほか大型提示装置を配備し、新しい教育環境を整備した。

※資料 P158～160 「○教育センター経費」 参照

※資料 P160～161 「○小学校教育振興経費」 参照

※資料 P163～164 「○中学校教育振興経費」 参照

※資料 P165 「○特別支援学校教育振興経費」 参照

【成果及び今後の取組等】

- ICT活用授業実践研修や学習端末活用研修の実施により、教職員のコンピュータ活用能力と情報活用能力が向上した。
- 情報通信技術支援員及び端末管理の外部委託により、安定して学習用端末を利用できるよう学校を支援した。引き続き、教職員の負担が過度になら

ないよう学校の取組を後押しする。

- 総合学習支援ソフトの継続利用により学習端末を使用した授業が活発化された。更に活用を図るため、教職員のフォローアップを進めていく。
- 国庫補助事業を活用し、校務用端末の更新、新潟県校務支援システムの導入、セキュリティポリシーの作成を行い、教育環境の改善を進める。

エ 市立小中学校の在り方検討

【令和7年度の取組】

- 児童生徒が集団で協力・切磋琢磨しながら学び、成長していくという学校の特性を鑑み、将来を展望した学校や教育環境の在り方等を検討することとし、事業を開始した。令和7年2月、教育長から「市立小中学校の在り方検討委員会」へ諮問を行い、令和6年度から計8回にわたる会議を重ねた結果、令和7年9月、望ましい教育環境の在り方等についての答申が提出された。

※資料P153 「○学校教育総務経費」参照

【成果及び今後の取組等】

- 令和7年10月から12月にかけて地区懇談会を開催し、答申の説明及び意見交換を行った。令和8年3月からは代表者懇談会を開催し、答申の内容を踏まえた協議を通じて、学校再編計画策定に向けた合意形成を図っている。これらの意見聴取や協議の結果を踏まえ、令和9年3月に学校再編計画を策定・公表する。

オ 学びの多様化学校整備

【令和7年度の取組】

- 小千谷中学校の分校として学びの多様化学校を設置するため、市民学習センター内を改修し、生徒が安心して自分のペースで学び、成長できる環境を整備した。

【成果及び今後の取組等】

- 開校式 令和8年4月10日
- 転入学式 令和8年4月22日
- 転入学生数 13人（市内7人・市外6人）
- 学校運営の中で必要な整備を随時進める。

(5) 育英事業の推進

ア 育英事業に対する支援

【令和7年度の取組】

- （公財）小千谷奨学会において、経済的な理由により就学困難な者に対し奨

学金の貸与を行った。

- ・貸与者数 新規 25人 継続 41人 計 66人
- ・令和7年度貸付総額 19,275千円

○(公財)小千谷奨学会において、小千谷学生寮を運営し、共同生活を通じた健全な学生生活の向上と、経済的負担の軽減を図った。

- ・学生寮入寮者数(令和7年4月1日現在)
新規 5人 継続 17人 計 22人

※資料P153 「○学校教育総務経費」参照

【成果及び今後の取組等】

- 令和7年度奨学生募集より、例年より早めに近隣高校へチラシ・ポスターの配布を依頼し周知を行うことで、31名の申込みがあった。
- 令和8年度から、近年の物価高騰を受け、学生が安心して学業に専念できる環境を整えるため、奨学金貸与額の引き上げを行う。
- 育英事業の充実を図るため、(公財)小千谷奨学会の学生寮運営経費等に対して助成を継続する。
- ホームページやポスター・パンフレットなどの有効な手段を用いて、小千谷学生寮の入寮生募集に努めていく。

2 子育て環境の充実

(1) 子育て支援の充実

ア 子育てを支援する地域社会づくりの推進

【令和7年度の取組】

- 「小千谷市こども計画」に基づき、こども政策を総合的に推進するため、各種事業を実施した。
- 保育園を核とした地域住民参加・交流による子育て支援活動を実施した。
- 町内会等の管理する児童遊園遊具等の新設・増設・修繕に対して助成を行った。
- 放課後子ども教室を開催し、放課後の子どもの居場所づくりや知識・経験の伝承の場を提供した。

※資料P90 「○児童遊園管理経費」参照

※資料P167～168 「○地域子どもはぐくみ事業」参照

【成果及び今後の取組等】

- こども政策を総合的に推進するため「小千谷市こども計画」に基づき、こどもまんなか社会の実現に向け各事業に取り組んで行く。

- 各園で実施している子育て相談及び未入园児お招き会などを通じ、保育園における各地域の子育て支援サテライト機能を充実していく。
- 児童遊園遊具等の助成により、児童が安心安全に遊べる環境整備を図る。
- 放課後子ども教室の開催により、児童の意欲が向上し学習や生活の変化につながっている。事業継続にはボランティアの確保が課題であり、確保に向けた取組を行う。

イ 保育サービスの充実

【令和7年度の取組】

- 保護者の子育てと就労との両立及び多様化する就労形態に対応するため早朝・延長保育、一時保育を実施した。
- 早朝・延長保育料の一部無償化により、就労支援を継続した。
- 遠距離から通園する児童の保護者に対し、負担軽減を図るため通園費の補助を行った。
- 共働き世帯の増加により保育ニーズが高まっている未満児（0～2歳児）の受入れ体制整備に努め、特に成長に差がある1歳児は、国配置基準よりも手厚い保育士配置を行い、安心・安全な保育環境の提供を行った。
- 障がいのある子どもの受入れにあたり、保育士の加配を行い、健常児と共に集団保育を基本に成長発達を促せる環境での保育を提供した。

※資料P85 「○保育園経費」参照

※資料P86～87 「○子ども・子育て支援事業」参照

【成果及び今後の取組等】

- 早朝保育や土曜日を含む延長保育、一時保育を実施し、子育てと仕事の両立を支援した。早朝・延長保育料の一部無償化も継続し負担軽減策を図る。
- 通園費補助を行うことで遠距離通園に係る保護者負担軽減が図れた。
- 未満児、障がい児保育の需要に対応する受入れを行うことができた。引き続きニーズに対応した保育士の確保に努める。

ウ 保育施設の適正配置の推進

【令和7年度の取組】

- 保育施設の利用ニーズに対し、受入体制の確保を行った。

【成果及び今後の取組等】

- 令和8年度の入園募集を行い、全ての児童の受入れをすることができた。
- 保育園の老朽化が進んでいるため、地域別、年齢別の児童数に基づき、保育サービスの向上を前提とした保育施設の適正配置を進める。

エ 放課後児童クラブ（学童保育）への支援

【令和7年度の取組】

- 放課後児童クラブの利用ニーズに対して、受入体制や活動場所の確保と安定的な運営を支援した。
- 多子世帯の負担軽減を図るため2人目以降の利用料を半額減免し、継続した支援を行った。

※資料P87 「○放課後児童健全育成事業」参照

【成果及び今後の取組等】

- 事業の安定的な運営と児童への保育の質の向上に取り組めるよう補助を行い支援した。今後も継続した協力体制が必要となる。
- 近年の利用ニーズの高まりにより、新規クラブの開設により、受入体制を確保した。今後も運営支援やニーズに対する対応を進める。

Ⅲ 点検及び評価に対する意見等

令和7年度の取組状況等の点検・評価に対する意見等は、以下のとおりです。

- ・ 報告書にあるとおり、教育委員会が素晴らしい事業を計画・実行し、良い方向に進めていただいていることを強く感じた。
- ・ 多くの事業において、子どもたちのために動いていただき、本当に感謝している。
- ・ 学校現場や児童生徒、保護者の状況や気持ちに寄り添った、きめ細やかな対応に感謝している。
- ・ 様々な課題がある中、教員の働き方改革もあり、時間の使い方が変わってきている。教職員が働きやすい環境整備を進めることや、関係機関や地域の方々の支援をいただきながら、小千谷の強みを生かして子どもたちのためになる教育を進めることが大切である。
- ・ 報告書がとてもよくまとまっており、1年間の事業や経過を確認できた。報告書を見ても社会が変わってきた流れが見えてくる。人口減少、少子化、物価高騰、職員数の減少、デジタルの推進などの社会背景があるからこそ、教育の現場でも同時進行で教育課題に対し、対策されている。引き続き、子どもたちの環境をよりよくしていけるよう、少しでも前進できるとよい。
- ・ 令和8年度に開校した学びの多様化学校について、どの児童生徒にも居場所になる可能性がある場所があるということは、とても素晴らしいことである。開校するには費用がかかるものであるが、費用がかかるから開校しない、という後ろ向きの考え方だと、救われるはずの児童生徒が救われない可能性がとても高いのではないか。小千谷市は分校という形ではあるが、素晴らしい居場所を確保できた

ことがすごく嬉しい。これから多くの視察要望があり、他自治体も開校する動きがあるのではないかと。限られたスタッフ、施設、予算の中で様々なニーズに応えることは難しいことと思うが、ぜひ、他自治体が真似したくなる運営や方針を進めていただきたい。

- ・ 幼保小の連携に関わる会議が多く開催されている。お互いに行き来をして学び合う機会も増えている。こども誰でも通園制度の取組も始まった。また、教員の「架け橋プログラム」への関心も高まっていると感じている。保育園・認定こども園から小学校へのスムーズな移行はとても重要である。
- ・ 一番大きく変わった分野は、0歳から5歳のシステムや国の方針が変わった保育分野ではないかと思っている。そこが元になって繋がっていくわけであり、学校教育のさらに前、一番元になる0歳から、あるいはそれ以前の段階から繋がりのある大きなサイクルの中で見守る、支援することについて、関係者で話せる機会があるとよい。
- ・ 小中学校での学ぶ習慣、学力を育んでいただくとありがたい。新潟県は特に、中学校の英語力が弱いと感じている。ALTや外国語指導助手が配置されているので、ぜひ英語力を伸ばしていただきたい。併せて、教員の英語力の向上にも注目していただきたい。
- ・ 学ぶための土台づくりについて、中学生になってからももちろん大事だが、もっと小さい頃からの積み重ねが大切で、大きくなってから変えていくのは負担が大きいと感じるので、小さい段階から取組ができるとよいと思う。
- ・ おちやしごと未来塾は、中学校、高校、その先の企業との連携が取れるものであり、早い段階でキャリア教育を進めることはとても有効なことと感じている。小学生もおちやしごと未来塾を見学することはできないか。もしくは、小学校5、6年生の担任が参加し、そこで学んだことを学校の教員にフィードバックする機会を設けてもらえると小・中・高校そして「しごと」と、よりつながるのではないかと思う。
- ・ おちやしごと未来塾について、各社は趣向を凝らしている。体験できる企業、説明のみの企業など様々なやり方があるが、子どもたちの心を掴むにはどうしたらよいかということに対して、企業は年々工夫されているように見受けられる。精度が上がってきていると感じる。

令和 7 年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

令和 8 年 8 月

編集・発行 小千谷市教育委員会

〒947-0028 小千谷市城内四丁目 1 番 38 号

(小千谷市健康・こどもプラザあすえ〜る)

電話 0258-83-3519 FAX 0258-83-5779